

## 3 . 文化活動の現況・課題

### 3 - 1 . 歴史文化に関する現況と課題

#### 《現況》

島本町内には、国指定重要文化財の灯心亭と呼ばれる茶室がある水無瀬神宮をはじめとして、歴史を伝える数多くの文化財が存在します。

平成16年には、郷土を中心とした歴史、考古、民俗等に関する資料を展示し、住民の郷土理解と文化的向上に資することを目的に町立歴史文化資料館を開館しました。

また、歴史講座などの事業を実施し、住民の郷土理解を図っています。

#### 《課題》

町立歴史文化資料館の活用

住民の興味・理解を深める歴史・文化遺産の環境整備

文化財台帳の編成と整備

文化財所在地周辺の環境整備（定期的除草・清掃）

文化財専門職員の充実配置

文化財保護条例の制定

## 3 - 2 . 芸術文化に関する現況と課題

### 《現況》

島本町においては、これまで、ふれあいセンター、住民ホール、図書館、人権文化センター等の施設を拠点に、行政もしくは住民団体を中心として活発な芸術文化活動が行われてきました。

また、毎年11月には活動の成果の発表と地域住民の交流の場として、文化祭を開催し、多くの団体・住民が参加しています。

### 《課題》

#### < 芸術文化の享受 >

身近に芸術を鑑賞できる講座・教室の充実、時間帯の工夫

#### < 芸術文化の創造活動 >

ハード・ソフト・養成面の条件整備（イベントの開催等による練習や発表の機会・場の確保、文化推進をプロデュースできる人材の育成）

指導・助言が受けられる体制づくり

#### < 芸術文化活動の交流 >

組織同士のネットワークづくりと情報公開、交流・発信等の推進

### 3 - 3 . 環境文化に関する現況と課題

#### 《現況》

全国名水百選に選ばれた離宮の水や、水無瀬川といった豊かな水資源は、住民生活に憩いと安らぎを与える貴重な環境文化資源となっており、島本町は「名水のまち」といえます。

また、大阪府指定の天然記念物「大沢の杉」、「ツブラジイ林」に代表される、森林も貴重な環境文化資源となっています。

こうした環境文化資源を保全・活用するため、本町森林等の保全及び活用に関する条例（平成16年3月）が策定され、総合的な施策の推進が図られています。

#### 《課題》

竹林や畑等の保全・農業の継承

水無瀬の滝の保存

自然環境教育・歴史教育の実施

住民がゆとりや快適さを感じられる施策の推進

環境保全活動を行う住民を結ぶ情報の提供

### 3 - 4 . 地域文化に関する現況と課題

#### 《現況》

地域文化とは地域社会ないし地域共同体を担い手とする文化です。

地域文化の機能として、文化の画一性を防ぎ、文化に動態と活力を与えることがあげられます。当町における地域の範囲としては、高度成長期以降、村落を基盤とした地域社会は解体が進み、農村がベッドタウン化していますので封鎖生活共同体としての地域を想定することは困難です。地域文化の担い手を住民だけに限定せず、他地域からの通勤者・レクリエーションに訪れる人たち、即ちその地域にさまざまな形で関与する人々を含めて広くとらえることが必要です。

また、伝統とは「前代までの当事者がしてきたことを、後継者が自覚と誇りをもって受け継ぐもの」ですが、地域文化の伝統とは受け継がれてきた生活様式ないし行動様式のうちでも、特にその地域の住民によって「自覚と誇り」をもって次代へ伝えるところのものです。

#### 《課題》

「国際・語学関係」や「環境保全」など社会性のある活動の充実  
インターネットを使った、施設の空き情報の提供・施設の予約などによる地域の諸施設の利用促進、個別の文化活動の情報発信の推進  
町内や周辺の学校、企業、各種団体等と住民の幅広い情報交換・連携  
ちらし等を活用した同じテーマで取り組む住民を結ぶ情報提供  
交流や仲間づくりとしての文化活動の充実  
住民活動組織（行政と個別活動をつなぐNPOなどの中間的組織など）の育成と活性化  
ベッドタウン化した島本町の住民どうしのつながり  
文化ボランティアの登録  
伝統的、民族的文化の継承支援（諏訪神社の弓射神事など）